



## 利用案内

### 開館時間

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

### 休館日

毎週月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は、その翌日)  
年末年始、資料展示替え・燻蒸の期間

### 入館料及び使用料

一般/310円(団体200円)

中学生以下および障がい者手帳持参者とその介助者1名/無料

※団体とは、代表者または、責任者を有する20人以上の集まりです。  
※施設の使用については、受付でお申し込み下さい。  
尚、施設の使用料は、別に定めてあります。

### アクセス

JR小舞子駅より徒歩で10分



#### お願い

- 館内での撮影はできません。
- 書架の図書・展示品には、手をふれないで下さい。
- 資料の利用(閲覧・撮影・模写等)を希望される方は、職員にお申し出下さい。
- 指定場所以外での飲食はできません。
- 敷地内禁煙となっています。

**呉竹文庫** 〒929-0217 石川県白山市湊町ヨ146番地  
☎(076)278-6252 FAX(076)278-6289

文化の香り漂うやすらぎの里

# 呉竹文庫

KURETAKE  
BUNKO



## 呉竹文庫のあらまし



設立者  
**熊田 源太郎**

呉竹文庫は、旧北前船主通称「熊源」の屋号で知られた熊田屋分家二代目源太郎氏が、自らの蔵書を大正4年4月から一般に公開していたが、大正11年2月私財を投じて、財団法人呉竹文庫を設立し、私設図書館としての形態を整え、広く地域文化活動の拠点としての役割を果たしてきた。

呉竹文庫設立の動機について、源太郎氏は、大正11年刊行の「呉竹文庫図書目録」の自序で次のように述べている。「私が弱年のとき父を失い、周囲の事情のため郷里を離れて遊学することを阻止せられました。しかし、知識欲をいかにしても制することができないので、いたずらに諸書を購求して乱読し、わずかに慰めておりました。これが私の蔵書の起因であります。……」

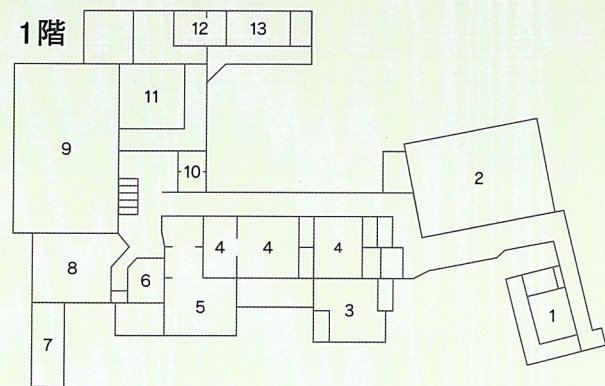
熊田家は代々、回漕業・鉱山業などを営んで財を築き、かつては県下有数の大地主として名を成した。

本文庫の創立者 源太郎氏(幼名 源一郎)は明治19年に生まれ、明治36年17才のとき



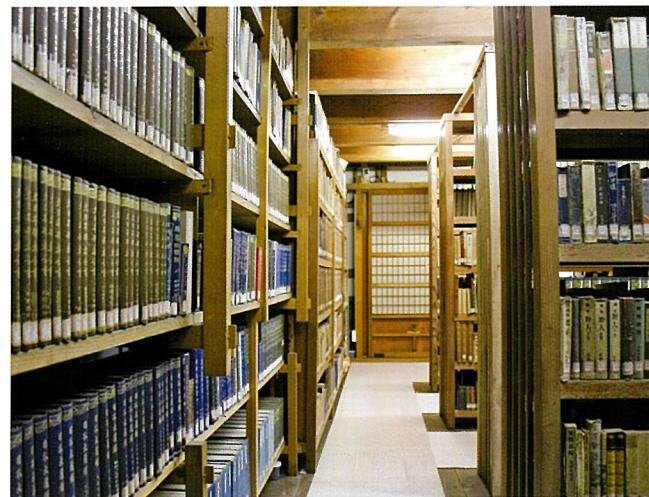
熊田源太郎 胸像

貴重な資料が並ぶ呉竹文庫は  
文化活動の場として  
今も受け継がれています



- 1. 呉竹庵
- 2. 展示室
- 3. 白樺の間
- 4. 和室(茶室)
- 5. 事務室
- 6. 玄関
- 7. 資料整理室
- 8. 閲覧室
- 9. 書庫
- 10. 便所
- 11. 休憩室
- 12. 浴室
- 13. 土間
- 14. 会議室
- 15. 資料保管室
- 16. 書齋
- 17. 菊の間

敷地面積 / 1,396.66㎡ (423.23坪)  
建造物面積 / 498.83㎡ (151.16坪)



## 一階書庫

この書庫は、約50㎡(15坪)の二階建ての土蔵で、2階には書齋・資料保管室がある。100年近く前の書籍も良く保存されている。13,863冊の蔵書は、明治44年石川県立図書館が全国に先がけて制定した十進分類法を基に分類され、1階と2階に分けて保管されている。大日本仏教全書(161冊)・大正新修大蔵経(85冊)など、仏教関係の図書が多い。他に新詩社系の歌集・雑誌など詩歌関係の図書も目立つ。

🚫 お願い / 書架の図書には手をふれないで下さい



## 一階展示室

この展示室は、33㎡(10坪)の2階建ての土蔵で、明治・大正時代には他に3棟の土蔵があった。ここは、源太郎氏が収集した美術品(書画・工芸品)、古文書(回漕業・鉱山業・藩政関係)、重要図書など貴重な資料を年数回入れ替え順次展示します。



## 二階書齋

階段・書齋は、けやき材が使われており、観音開の装飾・天井中央のいかりの模様・四隅の金箔張りの抱きみょうがの家紋などから北前船主、そして県下有数の大地主として栄えた熊田家の豪勢さがうかがわれる。この部屋に保管されている漱石全集、子規全集、鷗外全集、有島武郎全集などはほとんど非売品である。

🚫 お願い / 展示品には手をふれないで下さい

## 所蔵する主な美術品・古文書等目録

### 美術品

- ・明月記断簡
- ・歌切二首
- ・二条為世筆 古今和歌集
- ・源氏物語 夕顔の巻
- ・初夏の歌切
- ・歌切
- ・閑庭萩和歌短冊
- ・遠州候あやめ歌入分
- ・秋風の和歌色紙
- ・絹本著色 周茂叔図
- ・絹本著色 王昭君図
- 藤原定家(1162~1241)
- 藤原為家(1198~1275)
- 二条為世(1251~1338)
- 冷泉為相(1260~1328)
- 吉田兼好(1283~1350)
- 頼阿法師(1289~1372)
- 烏丸光広(1579~1638)
- 小堀遠州(1579~1647)
- 近衛信尋(1599~1649)
- 狩野常信(1636~1713)
- 同 上

- ・小沢盧庵筆 すずき画賛
- ・本居宣長書簡
- ・秋景山水
- ・勝 海舟書翰
- ・懐紙
- ・絹本著色 山水瀑布図
- 小沢盧庵(1723~1801)
- 本居宣長(1730~1801)
- 中村竹洞(1776~1853)
- 勝 海舟(1823~1899)
- 岩倉具視(1825~1883)
- 山田敬中(1868~1934)

### 古文書

- ・村上周防守頼勝(天正8年より19年間小松城主)書状
- ・前田利長候書状
- ・前田利常候書状

### その他

- ・百万塔 付陀羅尼及び台座
- ・大正天皇ご使用インキ壺
- ・舟額「晴天静」
- ・東本願寺玄関門寄進に対する光演上人礼状